

『大切な絆』

今年、狭山市立東中学校と狭山台中学校が統合して、新生狭山台中学校となり、狭山市内で一番大きな学校になりました。

最近の狭山台中学校の様子を紹介します。

まず、六月に行われた運動部の学校総合体育大会の結果です。野球部・剣道部女子・卓球部男子・ソフトテニス部男女・バスケットボール部女子、そして陸上部など多くの部が優勝し、県大会への出場を決めました。新生狭山台中学校としてとても良いスタートがきれたと思います。

続いて、私たち二年生の宿泊学習が静岡県の御殿場で実施されました。盛りだくさんの内容で、中でもキャンプファイヤーの出し物やフォークダンスで絆を深めることができたと感じています。昼食時に、バーベキューをしましたが、そこには元東中学校か元台中学校かなどは、全く関係なく、協力してとても美味しくいただくことができました。

一年生も二週間前に校外学習を行いました。中学校で初めての大きな行事でしたが、後輩から話を聴くと、仲間と協力してカレーづくりをし、フィールドアスレチックも楽しく、絆を深めることができたと話していました。

このように統合してから三ヶ月が経ち、すっかり仲良くなれた学校生活です。しかし、人数が増えることで、いろいろな考えを持つ人が集まり、トラブルも多くなり、学校のルールがおろそかになってきたのも事実です。そのことが原因で、学校以外の所でも、ルールが守れずに地域の方々に迷惑をかけてしまうこともありました。

例を挙げると、下校の様子です。部活動が終了し、最終下校時刻の六時には、門のあたりに生徒があふれています。六百名を越える生徒が一斉に下校するのです。皆さん、想像がつかますか。先生方が、外に出て毎日のように声掛けをしています。「歩道を開けて」「一列に！」と叫ぶ声が響きます。道に広がって帰る人もいます。後ろからの自転車に気づかずに注意された人もいました。遊行する方々にご迷惑をおかけしていると思います。

今の新生狭山台中学校に必要なものは、友達が道をそれたら正しい方向に導いてあげる人、また、そのような人を支えてあげられる人です。新生狭山台中学校に誇りを持ち、日々の生活で少しずつでも、そんな人を増やしていけたらいいと思います。

狭山台中学校には「当たり前のこと十か条」という約束事があります。

- 一つ 明るくあいさつ
- 二つ 「ありがとう」という感謝
- 三つ 「はい」とはっきり返事
- 四つ 時間を守る
- 五つ きちんとした身だしなみ
- 六つ くつをそろえる

七つ 正しい言葉遣い

八つ 温かい言葉遣い

九つ 一生懸命、無言清掃

最後に、人の集まる場所では静かにし、黙って話を聴く

これが、私たち狭山台中生徒の日常生活の基本となっています。いつでも、どこでも、当たり前、難しいことですが、努力します。

東中学校と狭山台中学校が統合したことは、当然、地域の方々や他の中学生も知っています。これからの私たちの行動によって

「狭山台中学校は、統合したからしょうがないよね。」

と、同情されるのではなく、

「統合してからも、すごいよね。」

と言われるような学校にしていきたいです。そのためには、一人一人が自覚を持ち、これからの毎日の生活で少しずつ改善していきます。